

ぎかいだより

題字 / 三枝小学校6年生 いしま れんた 岩島 怜汰さん
三枝小学校6年生の皆さんから応募いただきました。

Contents

- P 2 9月定例会の報告
- P 8 一般質問
- P 12 閉会中の委員会活動
- P 13 クローズアップ定例委員会
- P 15 議会トピック
- P 16 地域別市民意見交換会

№ 53
2023
11.1
AUTUMN



令和4年度決算を審査

物価高騰対策、新型コロナウイルス感染症対策等への対応などに約33億円の補正予算



提供 / 国府小学校

令和4年度の一般会計の歳入は579億円、歳出は527億円で、52億円の黒字決算となり、実質収支は41億円となりました。

長引く新型コロナウイルス感染症の影響により、通常の事業実施が困難となる中で、どのように事業の目的達成に向けた取組みが進められてきたのか、どのように課題を捉え、どう対応したのかという視点を中心に、各常任委員会において論点整理を行い決算審査に臨みました。

決算審査の結果、認第1号令和4年度一般会計歳入歳出決算、認第2号国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算及び認第5号介護保険事業特別会計歳入歳出決算は起立多数で、残りの認定案件6件は全員一致で認定すべきものと決しました。

● 総務環境委員会 ●

総務環境委員会では、決算審査にあたり実施計画の取組み実績や令和4年3月の予算審査時の指摘事項に対する取組み結果等の確認、コロナ禍で通常の事業実施が困難となる中でどのように事業の達成に向けた取組みが進められてきたか、どのように課題を捉えどう対応したのか等を決算審査の審査方針として質疑を行いました。主な質疑は次の通りです。

DXの推進に対する評価について

問 DX推進は、市民の利便性の向上と合わせて、コストダウンも重要な観点である。どのように評価しているか。

答 DX推進によるコストダウンの取組みについてはRPA（ロボティックプロセスオートメーション）を活用し、業務をロボットにさせることで500時間以上の業務を削減した。

森林環境譲与税の活用について

問 100年先の森林づくり推進事業、境界明確化事業の進捗状況は。また林業担い手育成事業には森林環境譲与税が活用されたのか。

答 森林境界明確化について、令和3年はコロナ禍により説明会等ができなかったが令和4年は計画通り進めることができた。担い手育成事業は森林環境譲与税を活用し、担い手確保に努めた。



● 福祉文教委員会 ●

福祉文教委員会では、決算審査はPDCAサイクルにおけるCheck（評価）として重要な取組であるとの認識を共有したうえで、予算と決算の連動といった視点を重視して審査することを確認しました。主な質疑は以下のとおりです。

保育士の処遇改善について

問

保育士の処遇改善事業でどのくらいの処遇改善が行われたのか。

答

この事業は令和4年10月から賃金の3%引き上げに相当する額に対して国が10分の10を補助した事業である。決算額は3,080万円で私立保育園16園と託児所1施設に助成を行った。対象者は合計470人程度で、月額7,500円から月額25,000円程度の処遇改善がそれぞれ行われ、毎月の基本給の上積みや手当として各法人から保育士に支払われた。

自殺対策事業の効果について

問

自殺対策として精神保健福祉士による心の健康相談が実施されているが、自殺者数の推移と事業の効果は。

答

令和3年度における高山市内の自殺者は19人。人口10万人に換算すると20.9人となり、国・県は16人前後であることから、自殺者数は多いと判断される。10年前は30名程度だったことから減少傾向にはあるが、高山市は比較的高い水準となっている。精神保健福祉士による心の健康相談は20件前後となった。

● 産業建設委員会 ●

産業建設委員会では、コロナ禍や物価高騰が各種産業へ及ぼした影響に対する市の施策の効果を決算審査の重要な視点として、審査に臨みました。主な質疑は以下のとおりです。

コロナ禍の資金繰りに対する支援

問

コロナ禍の資金繰りに対する支援について、ゼロゼロ融資の返済が本格的に始まり、コロナ禍の倒産事業者件数を超えているという統計が出ているが、市内においてはどうか。

答

市としては手厚い補助や借換え等を勧めながら、できる限り倒産や廃業がないように対応している。保証協会や金融機関とも意見交換を行っているが、飛驒地域、特に高山市については倒産件数も抑えられ、今のところ低い水準で推移している。

粗飼料価格高騰に対する支援

問

畜産の粗飼料価格高騰対策事業の執行率が低い、市ではどのような努力をしたのか。

答

予算要求時には市内で飼育されている牛が食べる量を全部市で購入する予定で予算計上したこと、粗飼料価格が高騰し安い飼料に切り替えた農家もあり、価格差が出なかったため補助金の対象とならなかったというようなこともあり、執行率が62%となった。補助金交付の手続が煩雑というようなことがあり、畜産課の職員が支援した。

9月定例会 議案審査から(主な質疑)

● 総務環境委員会 ●

久々野多目的センターの設置及び管理に関する条例の一部改正

問 改正する経緯と内容は。

答 監査の指摘事項を踏まえ、久々野多目的センター多目的室使用者の利便性向上を図るため改正するもので、使用料について許可時の納付と定められていたものを、使用前(前納)とし、取り扱いを変更するもの。

高山市火災予防条例の一部改正

問 改正する背景や理由は。

答 電気自動車の普及に伴って、充電箇所が整備されていくための対応や、蓄電設備は新たなリチウムイオン電池などへの安全基準の対応。固定燃料を使用する炭火焼き器の安全基準などを整備。喫煙等の表示は、国際標準化機構等が定めた規格への変更等を改正するもの。



● 福祉文教委員会 ●

荘川義務教育学校(仮称)の増改築における請負契約の締結

※建築・電気・機械を分離発注

《議員の質疑と市の説明から明らかになったこと》

○入札状況

工事種別	応札状況	契約金額	落札率
建築	3企業体	217,030万円	98.5%
電気	2社	27,742万円	99.4%
機械	2企業体	37,290万円	98.23%

○国庫補助：学校・給食センター部分 5/10 ※学校は特別豪雪地加算プラス0.5/10 保育園部分 5/10 ※県補助(県産材利用促進) 300万円

○木質化：廊下フローリング、壁の一部、木製家具の導入など施設全体

○暖房設備：寒冷地につきペレットストーブでなくガス式暖房

○暑熱対策：〈屋内〉エアコン、サーキュレーター、教室内扇風機など
〈屋外〉ミスト、木陰など

○アスベスト：R4年に有資格者の現地確認済み

○資材高騰対策：国交省の最新積算基準で積算。さらに工事者と協議し細かく対応

○工期：議決後～R7年3月末。

問 建物の木質化は

答 市の方針や地域からの要望に基づいて、廊下をフローリングにしたり、壁の一部を木質にしたり、施設全体の木質化を図っている。



荘川義務教育学校(仮称)イメージ図

● 産業建設委員会 ●

高山市公設地方卸売市場新築工事(建築・電気・機械)請負契約の締結

問 契約金額については、さらに資材価格が高騰した時は、ある程度スライドするという柔軟な対応はされるのか。

答 工事契約約款で、物価の急激な上昇などについては、受注者と発注者で協議して、必要ならば総額の変更契約をすることとしている。工事の監督員は、受注者側と常に相談しながら進めている。

市有財産(旧飛騨舟山スノーリゾートアルコピア屋外ステージほか)の無償譲渡

問 市有財産を無償譲渡する根拠は。

答 今回無償譲渡する建物、設備は、スキー場の廃止に伴い撤去する予定であったもので、残存価額より撤去費用の方が多額になる。備品は市場価格がなく備品本来の価値がないものと判断している。

問 個人への譲渡について、地域との合意もあってということだが、市は事業計画について確認し、精査しているのか。

答 旧飛騨舟山アルコピアスキー場の廃止後の地域振興をどうするのかということで、久々野地域の各種団体が検討会として議論を重ねており、船山、あらかぎ湖、位山周辺の資源を活用した取組みができないかということもテーマとして挙がっている。そうした中で、譲渡申出者が計画している通年での事業展開というのは、検討会でのテーマとも大きく結びついてくるものである。

◆ 委員間討議

「久々野地域全体の活性化に対する市の関わり方」及び「個人への無償譲渡にあたり、市として公益性を確保し、公平公正を担保する一定のルールづくり」を論点とし委員間討議を行いました。

◆ 委員からの主な発言

- 久々野地域だけではなく高山市全体の中で、支所地域がどういう役割を担っていくのかということを行行政として指導、助言することも必要である。
- 市は公平公正という観点から個人の取組みをサポートできないが、久々野地域の取組みと譲渡申出者の事業がうまくかみ合い一体として活性化に繋がるためのコーディネートは、市がリーダーシップをとっていくべきである。
- 個人へ譲渡する場合は、透明性と公平性、そこを担保したルール作りは、リスクマネジメントの一つとしても求められていくのではないかと。

◆ 現地調査

議案審査を実施するにあたり、9月13日に現地調査を行い、久々野まちづくり協議会長、久々野町連合町内会長及びアルコピアヒュッテ組合長から地域との連携について意見をお伺いするとともに無償譲渡する建物、設備及び備品の状況を確認しました。



旧飛騨舟山スノーリゾートアルコピアの現地調査

9月定例会 上程議案一覧表

市長提出議案

議案番号	件名	付託委員会	議決結果
報第11号	損害賠償の額の決定の専決処分について	-	報告
報第12号	債権の放棄について	-	報告
報第13号	継続費精算報告書（一般会計）について	-	報告
報第14号	継続費精算報告書（水道事業会計）について	-	報告
報第15号	継続費精算報告書（下水道事業会計）について	-	報告
議第81号	令和5年度高山市一般会計補正予算（第4号）の専決処分について	-	原案承認
認第1号	令和4年度高山市一般会計歳入歳出決算について	予算決算特別	原案可決
認第2号	令和4年度高山市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算について	予算決算特別	原案可決
認第3号	令和4年度高山市地方卸売市場事業特別会計歳入歳出決算について	予算決算特別	原案可決
認第4号	令和4年度高山市学校給食費特別会計歳入歳出決算について	予算決算特別	原案可決
認第5号	令和4年度高山市介護保険事業特別会計歳入歳出決算について	予算決算特別	原案可決
認第6号	令和4年度高山市観光施設事業特別会計歳入歳出決算について	予算決算特別	原案可決
認第7号	令和4年度高山市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算について	予算決算特別	原案可決
認第8号	令和4年度高山市水道事業会計利益の処分及び決算について	予算決算特別	原案可決
認第9号	令和4年度高山市下水道事業会計決算について	予算決算特別	原案可決
議第82号	高山市日々野多目的センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	総務環境	原案可決
議第83号	高山市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例について	福祉文教	原案可決
議第84号	高山市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	福祉文教	原案可決
議第85号	高山市火災予防条例の一部を改正する条例について	総務環境	原案可決
議第86号	高山市立荘川義務教育学校（仮称）等整備工事（建築）請負契約の締結について	福祉文教	原案可決
議第87号	高山市立荘川義務教育学校（仮称）等整備工事（電気）請負契約の締結について	福祉文教	原案可決
議第88号	高山市立荘川義務教育学校（仮称）等整備工事（機械）請負契約の締結について	福祉文教	原案可決
議第89号	高山市公設地方卸売市場新築工事（建築）請負契約の締結について	産業建設	原案可決
議第90号	高山市公設地方卸売市場新築工事（電気）請負契約の締結について	産業建設	原案可決
議第91号	高山市公設地方卸売市場新築工事（機械）請負契約の締結について	産業建設	原案可決
議第92号	財産（除雪ドーザ）の取得について	産業建設	原案可決
議第93号	市道路線の廃止について	産業建設	原案可決
議第94号	令和5年度高山市一般会計補正予算（第5号）	予算決算特別	原案可決
議第95号	令和5年度高山市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	予算決算特別	原案可決
議第96号	令和5年度高山市学校給食費特別会計補正予算（第1号）	予算決算特別	原案可決
議第97号	教育委員会委員の任命について	-	同意
議第98号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	-	同意
議第99号 ～ 議第102号	人権擁護委員候補者の推薦について	-	同意
議第103号	市有財産（旧飛騨舟山スノーリゾートアルコピア屋外ステージほか）の無償譲渡について	産業建設	原案可決

9月定例会の議案賛否一覧

9月定例会の提出議案における各議員の賛否は以下のとおりです。
この他の議案においては、いずれも全員一致で可決・承認・同意しました。

	丸山純平	中村匠郎	戸田柳平	益田大輔	坂下美千代	平戸芳文	片野晶子	水野千恵子	石原正裕	西本泰輝	伊東寿充	西田稔	沼津光夫	榎隆司	山腰恵一	渡辺甚一	岩垣和彦	中蔵博之	倉田博之	松山篤夫	上嶋希代子	車戸明良	水門義昭	小井戸真人
認第1号	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第2号	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第5号	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第83号	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※「○」は賛成、「●」は反対。水門議長は採決に加わりません。

9月定例会補正予算審査

一般会計補正予算

◆ 令和5年度高山市一般会計補正予算 第4号(専決処分)

1億2千万円

- ・令和5年7月の大雨による被災箇所の災害復旧費

◆ 令和5年度高山市一般会計補正予算 第5号

約17億6千5万円

- ・公共施設整備基金積立金 ・海外誘客プロモーションの実施
- ・高齢者福祉施設の防災改修等に対する助成 ・物価高騰対策関係
- ・地域要望等への対応 ・令和5年7月の大雨による被災箇所の災害復旧費 など

・主な質疑

町内会集会施設整備事業補助金

問 町内会集会施設整備事業補助金は、3分の1、1施設上限100万の補助の考えは。

答 集会施設の防犯体制の強化、安全性、利便性というなかで、防災備蓄倉庫施設に伴う間取り改修や手すりの設置の経費に補助する。

町内会防犯灯電気料高騰対策事業補助金

問 町内会の防犯灯電気料高騰に対する支援について、比較対象年度は何年度か。また、LED防犯灯の普及率は。

答 令和3年度と令和5年度と比べどれくらい高騰しているか比較し補助する。普及率は、令和3年度に行ったアンケート調査では、99%改修が終わっている。

問 電気料金高騰による影響額は。

答 市内の防犯灯は、10Wh未満で、令和3年度末の1灯当たりの額は1,603円、今回の物価高騰により9.8%増加する。各地区で所有している灯数が違うこともあるが、まちづくり協議会単位では、少ないところで1万円程度、多いところで27万円程度負担が出てくるものとみている。

海外誘客プロモーション事業委託料

問 台湾・香港・タイ市場の回復が出遅れている状況とあるが、冬季観光に向けた海外誘客プロモーションの実施については、商品の販売促進やターゲティングなどプロモーション効果としてどのように考えるか。

答 このプロモーションを通じて事業を知っていただく件数（リーチ数）として、280万人を指標の1つに掲げている。今後、業者との連携の中で、目に見える効果が得られるよう取り組む。

特別会計補正予算

◆ 令和5年度高山市国民健康保険事業特別会計補正予算 第1号

約3千4百万円

- ・保険給付費等交付金等の返還

◆ 令和5年度高山市学校給食費特別会計補正予算 第1号

約1千4百万円

- ・食材価格高騰に伴う学校給食賄材料費の増額

一般質問

9月定例会では16人の議員が市政に対する一般質問を行いました。
一般質問は、一問一答を基本とし、質問のみで1人40分としています。

教員の余裕のある働き方について

無会派

片野晶子



問 「生徒指導やフリーの先生を増やしてほしい」との教員の声がある。こうした校務を補助する非常勤講師の採用は可能か。

答 教員配置は県の裁量であり、厳しい状況ではあるが、毎年加配教員を要望している。県費での非常勤講師は適応支援、専門教科指導で82名、校務補助で8名を配置。県費と市費での採用は、校務補助員としてスクールサポーターを始めとする指導員を50名、市費で141名である。この様な採用は教職員の指導補助を行うことで負担軽減になっていると考える。引き続き県と連携し、非常勤講師の確保に努めていく。



若年層の投票率向上に向けた対応策は

無会派

小井戸真人



問 投票率向上対策として商業施設における投票所の開設などが実施されているが、何人が投票したのか、また、若年層の投票率が低い状況が続いているが、若年層の投票率向上に向けた取組は。

答 商業施設での投票者は1,955人であった。若年層の投票率向上については有効な取り組みがないことが課題であるが、どんな取り組みが政治に関心を持つことや、投票行動につながるかについて、出前講座などを通して若い方たちの意見をお聞きしながら検討をすすめる。



インボイス制度について

日本共産党高山市議団
坂下美千代



問 10月から始まるインボイス(消費税の適格請求書)制度導入によって、今後、地域経済の景気悪化が心配されるが、市が発注する事業者への影響と、市として何らかの対策を講じられないか。

答 市ではインボイス制度未対応であっても発注は従前と変わらず事業者が発注を行うため、事業者への影響はない。直ぐではないが、影響を受ける市内事業者が相当数いるものと考えているため、状況をしっかり把握し、必要な対策がとれるよう商工会議所、商工会等と連携していく。



10月閉院となる高山厚生病院について

日本共産党高山市議団
上嶋希代子



問 廃院を決めた高山厚生病院に代わる施設として、市の責任で介護医療院を設置すべきと考えるが、市の考えは。

答 介護医療院についてはこれまでも複数回にわたって話を聞いており、必要性については充分認識している。飛騨圏域の3市1村の首長の中でも高山厚生病院が廃院になることで、今後の介護や医療をどうするのか、常に話題にしている。日赤病院、久美愛厚生病院と高山市との連携協定のなかでも一つのテーマとして取り上げている。



一般質問

一般質問とは、議員が高山市政全般にわたり、事務執行の状況及び将来に対する方針などについて所信を質すとともに、報告、説明を求め疑問を質するものです。

クマはぎ被害の防止を。
守ろう針葉樹！

未来
松山篤夫



問 スギやヒノキの針葉樹が「クマはぎ」による被害を受け、立ち枯れした樹木もある。木が傷つくことにより木材の価格が下がり、分収造林の販売益の確保が見通せない状況がある。市の被害状況と対応策は。

答 昨年度の被害は、朝日町において2.73haとなっている。森林所有者の方が長年に亘って大切に育てられた立木であり、今後も被害状況の把握に努める。対策として、国・県の補助事業を活用した立木の樹幹にポリエチレンテープを巻く「テープ巻き」など「クマはぎ」に対して効果的な予防施策の普及を図っていく。

まちづくりのコンセプトの
明確化について

新政たかやま
中村匠郎



問 人口減少・気候危機等、未来が不透明になる中で、私達が今後の社会を生き残るための道標となる旗を立て、あらゆる施策に一貫性を持たせることが必要と考える。私は「木」を核としたまちづくりを進めたいと考えるが、旗の必要性について市の考えは。

答 飛騨高山らしさについては地域・世代等によって異なるが、今後は第九次総合計画、観光ビジョン等を見直していく。そこで議会だけでなく市民とも十分に議論を深めていき、多くの方の意見を聞く中で飛騨高山らしさ、旗となるべきものは何なのかを見つけ出していきたい。

メイド・バイ飛騨高山認証
制度について

新政たかやま
戸田柳平



問 平成30年創設のメイド・バイ飛騨高山認証制度は、コロナ禍の影響もあってか現在まで目立った動きがない。現時点で認証の知名度がほぼ皆無で、事業者からは「デメリットの方が大きい」という声が上がっている。この制度は、市が責任を持てる範疇を超えている。運営自体を外部委託すべきでは。

答 高山の本物を広く周知させることを主眼として昨年度までに33産品を認証している。事業者さんからはご指摘のご意見の他、製品の売上増のための取組みが十分でないという声も聞いている。今後は制度の在り方について検討をしたいと考えている。

荘川町六厩地区の産業廃棄物
最終処分場計画について

新政たかやま
平戸芳文



問 市長は3月定例会の一般質問で「荘川町六厩地区は、産業廃棄物最終処分場の建設地として適地ではない」と答弁されたが、市としてそうしたことを証明する現地調査などを実施する考えはあるか。

答 六厩地区の厳しい自然環境における産廃処分場の管理の問題や生態系への影響、事業における住民の合意形成が困難であること等により適地ではないとお答えした。今後も六厩川の水質調査を実施しつつ、岐阜県環境影響評価条例に基づく事業者による調査に対し、六厩地区の環境保全の見地から必要な意見を県へ提出していく。

一般質問

一般質問は、質問と答弁がかみ合うことで分かりやすく充実した議論となるよう、原則としてあらかじめ通告しておくこととなっています。

歴史景観まちかどスポットは誰のために？

新政たかやま

西田 稔



問 荏名神社前のまちかどスポットは昭和 60 年に建設。その後、荏名団地町が出来て朝晩のラッシュ時にまちかどスポット前で渋滞が発生するようになった。ここは通学路でもあり安心・安全のため整備が求められている。まちかどスポット整備について市の見解は。

答 まちかどスポットの中には周辺の住宅地開発などで交通事情等が変化し、道路整備などの見直しが必要なものもある。地域など関係者の皆様のご意見も踏まえながら、スポットの部分的な改修や樹木の部分伐採により見通しを確保するなどの対応を行っていく。



荏名神社前まちかどスポット

下水道の今後の課題について

新政たかやま

沼津 光夫



問 下水道未整備地域や現在、耐用年数を超えて使用されている合併浄化槽の更新等、下水道の今後の課題についての市の見解は。

答 下水道未整備地域の中で、下水道処理区域内は河川整備計画と同調するなど条件が整い次第順次整備をすすめ、下水道処理区域外へは合併浄化槽設置費用に対する助成事業を進める。また、耐用年数を超えた浄化槽に対しては、国において改築に対する補助制度が創設されているため、今後、県と事業採択条件等を相談し、改築への助成について検討を進める。

EaTown 飛騨高山の現状について

みんなで未来をつくる会

丸山 純平



問 本町 3 丁目の EaTown 飛騨高山が、全館リニューアルを目的とした臨時閉館の状態になっている。当初は、外国人対応おもてなし拠点施設として、補助金等を活用してつくられた施設だが、この現状を市はどう認識しているのか。

答 EaTown 飛騨高山は今年 3 月末をもって全てのテナントが撤退している状況である。現在は貸館利用をおこなっているが、運営主体の株式会社まちづくり飛騨高山や関係機関と協議しながら、施設全体を一棟貸しするなど有効活用できる事業者を募集している。



オーガニック給食について

みんなで未来をつくる会

益田 大輔



問 昨今の急激なアトピーや発達障害の増加は、農薬や食品添加物が一因と指摘されている。化学肥料に頼らない有機農業の推進が世界的にも進められ、日本においても農水省が「みどりの食料システム戦略」を打ち出している。人は食べたものでできており、身体や脳が完成するまでの胎児期から乳幼児期、学童期の食事は極めて重要である。子どもの未来を考え、早急なオーガニック給食の導入が必要ではないか。

答 国の方針は承知している。有機食材の価格や量、質を注視し、市内で確保可能となれば導入を考えたい。



一般質問

QRコードから各議員の一般質問をご覧ください。配信は会議録が調製され次第終了します。(タブレット・スマートフォンに対応。通信料は別途発生します。)

誰でも情報が得られる環境をつくれな

高山市議会公明党
山腰 恵一



問 紙媒体に印刷情報として音声コード Uni-Voice (ユニボイス) を掲載することで音声として聞くことができる。視覚障がい者や高齢者など、誰にでもやさしい情報のバリアフリーに向けて、本市の通知文書などの印刷物に活用する考えは。

答 スマートフォンで無料ダウンロードでき、利用者の負担が少ないことから、視覚障害者活字読上げ装置に比べて汎用性が高い。すでに音声コードを取り入れている自治体もあることから、効果や課題を聴き取り、実用性を検証するなど、導入する方向で検討する。



ベンチのあるまちづくり

高山市議会公明党
中箴 博之



問 ただ座って休むだけではない一つの居場所として、かつコミュニティを生む「まちのデザイン」として、公園・歩道・まちなかの商店街・バス停・散策コースなどに、戦略的にベンチを設置してはどうか。

答 これまでにも公園やまちかどスポットなどにベンチを設置してきたが、民間事業者や地域と協働してベンチの設置を戦略的に進めることで、快適なまち歩きや魅力の創出にもつながるベンチのあるまちづくりは一つの方策だと考える。様々な手法を参考にしながら、取組みを進めていきたい。



高山市図書館前のベンチ

賃金上昇に伴う事業者支援の考えは

創政・改革クラブ
岩垣 和彦



問 賃金上昇は、円安や物価高の影響の中で生活に苦慮する市民の実情を鑑みれば当然のことである。他方、事業者の経営も円安や原材料高の影響を大きく受ける中であって、事業経営も圧迫される環境が進んでいる。こういった中で特に小規模事業者の経営が困難になっていく可能性が大きい。市として賃金引上げをする事業者に対して優遇措置や支援を検討できないか。

答 円安や物価高騰は事業経営に大きな影響を与えており、厳しい状況の中での賃金引上げは難しいものと捉えている。世界的に経済状況が変化するなか、地方自治体ができることは限られており、現在のところ支援の考えはない。市としては、市内事業者が将来に亘って持続可能な経営を目指すために、商品やサービスの付加価値を高め利益を伸ばしていくと共に、生産性を高めていくことが重要と考えている。今後も賃金引上げのために国や関係団体等と連携して取り組む。

灼熱の夏に負けないまちづくり!!

創政・改革クラブ
倉田 博之



問 高山の夏に冷涼アドバンテージはなくなった。空調や遮熱塗装など個々の住まいのハード部分にも市は政策的にコミットすべき。

答 暑熱順化や効果的暑さ対策の情報を提供していく。

問 暑さ対策は社会全体で取り組む時代。環境省「まちなかの暑さ対策ガイドライン」を参考に、市民や観光客が涼をとれる「まちなかのクールスポット」を数多く設置すべきだ。位置を記したクールマップの配布も有効。

答 まちづくりの重要な視点。公共施設でクールシェアできるが、スポット整備なども検討が必要。マップの案は参考になりたい。



桜山風鈴まつり

議会閉会中の委員会活動

高山市議会では、毎月、総務環境委員会、福祉文教委員会、産業建設委員会の3つの常任委員会を開催し、市の重要事項について執行部から協議・報告等を受け議論を行うとともに、市政に関する調査研究活動を行っています。

常任委員会の協議・報告事項（7月～9月）

● 総務環境委員会 ●

7月21日	報告事項	ごみ処理施設建設工事の進捗状況について
9月16日	協議事項	消防団員退職報償金の見直しについて

● 福祉文教委員会 ●

7月27日	協議事項	市と高山赤十字病院及び久美愛厚生病院の連携について
	報告事項	令和5年度指定管理者募集について
8月21日	報告事項	令和5年度指定管理者募集について
9月15日	協議事項	野球場の整備について
	報告事項	特別養護老人ホームへの入所について

● 産業建設委員会 ●

7月25日	協議事項	公園における大型遊具等の整備について
		無電柱化整備に関する方針について
	報告事項	森林公園大倉滝の用途廃止について
		みぼろ湖オートキャンプサイトの譲渡について
		令和5年度指定管理者募集について
8月22日	報告事項	公共事業用地の取得について
		旧飛騨舟山スノーリゾートアルコピアの利用について
9月19日	協議事項	法定外公共物の取り扱いについて
		観光を活用した持続可能な地域づくり方針について
		中心市街地活性化基本計画の策定について

● 産業建設委員会 ●

分野別市民意見交換会

◆高山市における建設業の現状と課題について

産業建設委員会では7月25日、飛騨地域地場産業振興センターにおいて、令和5年7月10日に議長へ連名（商工会議所・同建設部会、建設業連絡協議会、（一社）高山建設業協会）で提出された要望書に基づき、高山市建設業連絡協議会の役員の方々と建設業の現状や課題について意見交換を行いました。

役員の方々からは、市は国や県のように工事の発注規模（金額）を公表してほしい、発注工事がなければ事業規模を縮小し人員削減するしかなく、大規模な災害発生時に建設業者が対応不能となる、工事も除雪業務も少ないとダメージが大きいなどという意見が活発に出されました。また、委員からは、毎年のように災害が発生している状況であり、技術者の高齢化、建設機械の維持管理経費が増加する中であっても、建設業は市の安全安心を守っていただく危機管理業であるなどの意見がありました。委員会では、今後も現場の声をしっかり聴いて活動していきます。



高山市建設業連絡協議会役員との意見交換

クローズアップ定例委員会

今回は、8月～10月までの活動の中から、「野球場の整備について」の議論の内容をお知らせします。

野球場の整備について

9月15日に、野球場の整備について、福祉文教委員会で市側と協議を行いました。

○市の野球場整備に至る経緯（抜粋）

- ・市内には野球専用施設として中山公園野球場があり、子どもから高齢者まで幅広い世代に親しまれているが、設備が老朽化し、また選手専用トイレがないことや有料入場者の管理など公式戦の開催基準を満たしていないことから、高校野球の予選ができる野球場の整備を望む声があがっている。
- ・令和2年3月、野球場の整備を第八次総合計画実施計画の重点事業として位置付け、近年整備された野球場の現地調査や情報収集を行ってきた。
- ・令和3年度より、市内の野球関係団体の代表者等で組織された新野球場建設プロジェクト委員会と利用方法や機能などについて意見交換を実施してきた。

○市の野球場整備の目的

- ・競技力の向上、子どもから高齢者までの幅広い世代の競技者が、軟式や硬式を問わず日常的に試合や練習ができる環境づくりに向けた整備を進めることにより、第八次総合計画の「スポーツが身近となる機会を創出」の実現を図る。

●福祉文教委員会における主な議論

主に以下の論点から多くの質疑を行いました。

- ・収容観客数、駐車場について
 - ・暑さ対策
 - ・公式戦の開催基準について
 - ・施設のバリアフリー対応について
 - ・工事期間中の代替施設について
- など



野球場イメージ図

●福祉文教委員会における主な意見

- ・今後、設計にあたり、ユニバーサルデザインや暑さ対策に配慮すること
- ・施設運用後のメンテナンスなども設計段階から考慮すること など

●今後の予定

- ・令和5年度～令和6年度 調査・設計
- ・令和7年度～令和9年度 整備
- ・令和9年度 供用開始

自治基本条例等及び総合計画に関する特別委員会

自治基本条例等の制定に向けた取組み

自治基本条例（まちづくり条例）について、9月29日（金）に現時点で重要と思われる4つのポイントをとりまとめた意見書を田中市長へ提出しました。

1. 市の将来の全体像を描く総合計画（政策の実体）を自治基本条例等（仕組み）の中核に据えた上で、総合計画の策定、決定及び運用における市民、行政、議会の役割を明確にすること
2. 住民自治におけるまちづくり協議会の存在意義や役割を明確にし、市民と共有すること
3. 第九次総合計画及び自治基本条例等に関する市民との意見交換や、市の様々な取組みを通じて、自分たちはまちづくりの当事者であるという市民意識の更なる醸成を図ること
4. 第九次総合計画の検討から決定までのプロセスをふり返り、この経験に基づいて自治基本条例等（仕組み）を練り上げること

第九次総合計画に対する提言に向けた取組み

2025年度から2034年度までの10年間を計画期間とする第九次総合計画基本計画は、令和7年3月定例会での議決に向け策定が進められる予定です。

議会では、現行の第八次総合計画後期計画を検証しつつ、第九次総合計画の計画期間における「まちづくりの視点（価値観）」を今年12月までにとりまとめる作業を行っています。

今年6月から、総務環境・福祉文教・産業建設の各常任委員会を分科会として、それぞれが「高山市が将来にわたって持続可能なまちであるために、この10年間のまちづくりに求められる特に重要な視点（価値観）」という提言のテーマに基づき議論を重ねてきました。

各部会から提出された提言を、議会として一つにまとめたうえで全体合意を図り、提言として市長に提出します。

なお、提言の内容については、次号でご紹介します。

防災訓練でいざというときに備える

9月3日、高山市総合防災訓練が市内各所にて行われ、多くの市民が参加しました。巨大地震や自然災害の頻発・激甚化を想定し、いざというとき安全・適切な行動がとれるよう自助の訓練、地域コミュニティ全体の防災力を高める共助での連携、災害リスクや必要な防災活動への十分な備えとしての公助の対策など、防災訓練によって自助・共助・公助の確認や意識の醸成が図られました。また、国際観光都市「飛騨高山」としての歩みの中で、市街地においては多言語対応・多言語表記も確認できますが、支所地域等においては不十分であり、今後の課題や対応への視点も確認されました。

市議会としてもBCP（災害対策行動指針）の基、訓練を実施した中で様々な課題も抽出されました。防災訓練を通じ、災害時にはマサカではなく、我が事と認識する習慣が命を守る第一歩であり、防災力とはOne for all, All for one（一人はみんなのために、みんなは一つの目的のために）であることを再認識しました。



防災訓練のでの初期消火訓練（朝日地域）

議会トピック

“市議会議員を体験” 地域お仕事発見隊

7月26日、地域お仕事発見隊のプログラムで市内の小中学生6名の皆さんが、市議会議員を体験しました。はじめに、議員から議会や議員の仕事について説明の後、本番さながらの議長選挙を体験していただきました。また、現在、市で整備を計画している駅西地区について、「こんな施設があったらいいな」という発表をしてもらいました。参加した皆さんからは、「こんなに大勢の大人の前で話すことは初めてで、よい経験ができた」、「いろいろな意見が聞けて参考になった。この経験を将来に活かしたい」などの感想が聞かれました。今後も、引き続き、市民の皆さんに議会を身近に感じてもらえるような取組みを進めていきます。



駅西地区についての意見発表



友好都市越前市議会との親善交流

10月10日、11日に越前市議会議員19名が訪れ、高山市議会議員との意見交換や現地視察を行いました。越前市（旧武生市）と高山市は、陣屋などの歴史的なつながりやまちの形態が似ていることなどから、昭和57年に友好都市提携を結んでいます。両市議会は相互に訪問して親善を深めており、今回は1日目に議会改革の取組みについて意見交換を行い、2日目は国府町の歴史に触れていただくため、安国寺経蔵（国宝・重要文化財）、清峯寺円空仏（県指定重要文化財）を視察していただきました。



両市議会議員の意見交換会

令和5年 高山市議会 12月定例会日程(案)

開会日	曜日	会 議 内 容		場 所
12/1	金	午前9時30分	本会議（提案説明、質疑、委員会付託）	議 場
5	火	午前10時	一般質問通告締切	
6	水	午前9時30分	常任委員会	各委員会室
8	金	午前9時30分	本会議（一般質問）	議 場
11	月	午前9時30分	本会議（一般質問）	議 場
12	火	午前9時30分	本会議（一般質問）	議 場
		本会議終了後	議会運営委員会	全員協議会室
14	木	午前9時30分	総務環境委員会	全員協議会室
15	金	午前9時30分	福祉文教委員会	全員協議会室
18	月	午前9時30分	産業建設委員会	全員協議会室
19	火	午前9時30分	予算決算特別委員会	全員協議会室
21	木	午前9時30分	本会議	議 場

このマークが付いている日はインターネット・ケーブルテレビで中継します。

令和5年度 高山市議会 地域別市民意見交換会

市議会では、地域別市民意見交換会を市民の皆様から政策課題の芽をいただく貴重な機会と捉えています。市民の代表機関として、市民の皆様と情報共有し、市民の皆様の意見を市政に反映させることで市民福祉の向上につなげることが重要であると考えています。今年度は、地域課題について意見交換を行います。また、議会の特別委員会等の取組みについても報告します。

期 日	開 催 地 区	場 所	担当班	開始時間
10月31日(火)	三枝地区	三枝小学校 多目的室	8	午後7時
11月6日(月)	高根地区	高根公民館 4階ホール	5	
11月8日(水)	清見地区	清見支所3階 大会議室	1	
11月8日(水)	奥飛騨温泉郷地区	奥飛騨総合文化センター 会議室A・B	7	
11月9日(木)	上宝地区	上宝支所2階 大会議室	4	
11月9日(木)	西地区	西小学校 マルティ	5	午後8時
11月10日(金)	北地区	北小学校 第2体育館	7	午後7時
11月13日(月)	丹生川地区	丹生川文化ホール	8	
11月14日(火)	大八地区	大八まちづくり協議会 サロン	6	
11月14日(火)	一之宮地区	一之宮公民館 第1研修室	4	
11月15日(水)	新宮地区	新宮公民館	4	
11月15日(水)	荘川地区	荘川総合センター 会議室2・3	2	
11月17日(金)	岩滝地区	岩滝公民館 2階	5	
11月17日(金)	久々野地区	久々野支所 多目的室	8	
11月21日(火)	山王地区	山王小学校 会議室	1	
11月21日(火)	朝日地区	燦燦朝日館	6	
11月22日(水)	東地区	高山市図書館 生涯学習ホール	3	
11月28日(火)	南地区	南小学校 多目的室	1	
11月28日(火)	花里地区	花里小学校 第2体育館	3	
11月29日(水)	江名子地区	江名子小学校 第2体育館	2	
11月29日(水)	国府地区	こくふ交流センター 研修室A・B	3	

担当議員一覧

所属委員会 総：総務環境委員会 福：福祉文教委員会 産：産業建設委員会

1班	西本 泰輝	産	石原 正裕	総	坂下美千代	福	5班	車戸 明良	総	倉田 博之	福	中村 匠郎	産
2班	水野千恵子	福	水門 義昭	産	岩垣 和彦	総	6班	小井戸真人	福	伊東 寿充	総	丸山 純平	産
3班	西田 稔	総	沼津 光夫	福	片野 晶子	産	7班	渡辺 甚一	産	山腰 恵一	福	戸田 柳平	総
4班	松山 篤夫	産	榎 隆司	福	平戸 芳文	総	8班	中箴 博之	産	上嶋希代子	総	益田 大輔	福

※都合により担当議員が交代することもあります。

ぎかいだよりの表紙写真などを募集しています

議会広報紙がより身近なものとなるように、市民の皆様から、ぎかいだよりの表紙や紙面で使用する写真を募集しています。

募集要項は、市議会ホームページでも確認できます。応募は、個人に限らず、団体や学校等で撮影いただいたものでも可能です。詳しくは議会事務局へお問い合わせください。

◆次号令和6年2月1日発行のぎかいだより第54号の写真の応募締切は令和6年1月10日(水)です。



編集後記

「グローバリゼーション」とはヒト・モノ・カネ・サービス・情報などの流動性が高まり、国境のない世界の意。令和4年度高山市一般会計歳入歳出決算審査等においても、グローバリゼーションの影響が色濃く表れた内容でもありました。一地方自治体としても、これら環境の大きな変化を捉え、適応戦略・成長戦略においても社会情勢や実態に即した柔軟な対応が求められます。(雲外蒼天：困難を乗り越えた先には、明るい青空がある。) 一つひとつの課題を乗り越えた先に、どんな景色が目映るのか？ 私たちの生活様式の変化にも影響を及ぼすグローバル化の波が、明るい青空であることを。そして、、、あるがために。

